



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月26日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7970 URL <http://www.shinpoly.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 義昭
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 平澤 秀明 (TEL) 03(5289)3716
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 平成29年11月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	38,991	6.7	3,470	4.3	3,637	25.5	2,553	16.8
29年3月期第2四半期	36,531	△1.9	3,328	74.7	2,898	32.9	2,186	48.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,150百万円(-%) 29年3月期第2四半期 △2,194百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	31.09	31.04
29年3月期第2四半期	26.69	26.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	99,974	74,616	74.5
29年3月期	96,061	72,890	75.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 74,487百万円 29年3月期 72,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
30年3月期	—	6.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	2.7	6,500	17.9	6,800	14.6	5,200	22.9	63.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期2Q	82,623,376株	29年3月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	474,262株	29年3月期	513,092株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	82,139,495株	29年3月期2Q	81,907,577株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に緩やかな景気回復基調が続きました。米国においては、個人消費が底堅く推移し、企業収益も改善するなど堅調な景気が続き、欧州においても金融緩和策や新興国景気の持ち直しなどが下支えとなり、緩やかな回復傾向にありました。また、アジアにおいては、中国では政府の経済政策の効果もあり景気減速に歯止めがかかり、ASEAN諸国の景気も改善傾向にありました。

日本経済は、円安基調の定着などにより、企業収益の改善傾向が継続し、堅調な雇用・所得環境を背景に個人消費も底堅く緩やかな景気回復基調が続きました。

当社グループ関連の事業環境につきましては、半導体業界の活況が継続し、自動車関連分野の需要も順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、販売面では、主力製品及び新製品の拡販に注力した営業活動を国内外で継続展開し、生産面では、本年4月に国内生産子会社4社を吸収合併し、経営資源を集約した組織運営を開始するとともに、生産能力増強などを目的とした設備投資も積極的に進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は389億91百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は34億70百万円（前年同期比4.3%増）、経常利益は36億37百万円（前年同期比25.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億53百万円（前年同期比16.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 電子デバイス事業

当事業では、自動車関連入力デバイスを中心に順調な出荷が続き、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸びました。

主力の入力デバイスは、自動車電装スイッチの種類や搭載車種が増えて、キースイッチ及びタッチスイッチの出荷が好調に推移しました。一方、薄型ノートパソコン用タッチパッドは、需要低迷と新機種受注獲得に苦戦するなど振るいませんでした。ディスプレイ関連製品は、液晶接続用コネクタの販売が回復傾向にありましたが、視野角制御フィルム（VCF）が伸び悩みました。コンポーネント関連製品は、電子部品検査用コネクタがハイエンドスマートフォン用部品の生産調整の影響などを受けましたが、回復の兆しが見えてきました。

この結果、当事業の売上高は96億98百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は8億51百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

② 精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器の出荷が好調に推移し、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸びました。

半導体関連容器は、半導体業界の高水準な需要を背景に主力の300mmウエハー用製品だけでなく小口径用製品の出荷も好調に推移し、売上げを大きく伸ばしました。OA機器用部品は、主要ユーザー向け製品の出荷が回復に向かいましたが、売上げは前年並みでした。キャリアテープ関連製品は、自動車向け半導体の好調さに加えて、スマートフォン向け電子部品などの需要が回復基調に戻り、売上げを伸ばしました。シリコンゴム成形品は、主力の医療関連製品が堅調に推移しましたが、売上げは前年並みでした。

この結果、当事業の売上高は167億70百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は25億8百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

③ 住環境・生活資材事業

当事業では、外的環境が非常に厳しい中、価格改定や新製品拡販に努め、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸びました。

ラッピングフィルムなど包装資材関連製品は、食品スーパーマーケット向け、外食産業向けの出荷が伸びず、売上げは横ばいでした。塩ビパイプ関連製品は、競争が激しい中、受注量を確保して、売上げは前年を上回りました。機能性コンパウンドは、自動車用製品とFAロボットケーブル用製品が好調に推移し、売上げを大きく伸ばしました。外装材関連製品は、需要が伸び悩む中、新規取引先開拓やラインナップ拡充が奏功し、売上げは前年並みの水準となりました。

この結果、当事業の売上高は90億94百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は80百万円（前年同期比358.8%増）となりました。

④ その他

工事関連では、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件、公共施設の内装物件を安定的に受注するなど、全体として、売上げは前年を上回りました。

この結果、その他の売上高は34億28百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は29百万円（前年同期比79.5%減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月24日に公表いたしました平成30年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,236	42,971
受取手形及び売掛金	18,903	19,080
商品及び製品	5,520	5,854
仕掛品	1,147	1,139
原材料及び貯蔵品	2,391	2,450
未収入金	1,202	1,160
繰延税金資産	1,042	1,079
その他	3,094	3,210
貸倒引当金	△360	△362
流動資産合計	73,178	76,585
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,781	6,852
機械装置及び運搬具（純額）	4,564	5,036
土地	6,471	6,533
建設仮勘定	1,003	1,170
その他（純額）	1,028	1,076
有形固定資産合計	19,850	20,669
無形固定資産		
ソフトウェア	209	137
その他	95	84
無形固定資産合計	305	221
投資その他の資産		
投資有価証券	1,184	1,252
繰延税金資産	450	228
その他	1,092	1,016
投資その他の資産合計	2,727	2,498
固定資産合計	22,882	23,389
資産合計	96,061	99,974

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,080	14,604
短期借入金	0	0
未払金	2,737	2,962
未払法人税等	966	1,118
未払費用	2,641	2,588
賞与引当金	1,167	1,312
役員賞与引当金	46	19
その他	987	1,216
流動負債合計	21,628	23,823
固定負債		
長期借入金	0	—
退職給付に係る負債	1,231	1,260
その他	310	274
固定負債合計	1,542	1,534
負債合計	23,171	25,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,718	10,718
利益剰余金	51,970	53,995
自己株式	△360	△333
株主資本合計	73,964	76,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436	481
為替換算調整勘定	△1,560	△2,007
退職給付に係る調整累計額	△1	△1
その他の包括利益累計額合計	△1,125	△1,528
新株予約権	51	128
純資産合計	72,890	74,616
負債純資産合計	96,061	99,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	36,531	38,991
売上原価	24,733	26,843
売上総利益	11,798	12,148
販売費及び一般管理費	8,470	8,677
営業利益	3,328	3,470
営業外収益		
受取利息	104	117
為替差益	—	60
その他	50	27
営業外収益合計	154	206
営業外費用		
支払利息	12	11
為替差損	554	—
固定資産除却損	10	26
その他	7	0
営業外費用合計	584	39
経常利益	2,898	3,637
税金等調整前四半期純利益	2,898	3,637
法人税、住民税及び事業税	744	971
法人税等調整額	△32	112
法人税等合計	711	1,084
四半期純利益	2,186	2,553
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,186	2,553

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	2,186	2,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	44
為替換算調整勘定	△4,363	△447
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	△4,380	△402
四半期包括利益	△2,194	2,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,194	2,150

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,898	3,637
減価償却費	1,301	1,335
受取利息及び受取配当金	△117	△131
支払利息	12	11
為替差損益(△は益)	328	△73
固定資産除却損	10	26
売上債権の増減額(△は増加)	△2,164	△921
たな卸資産の増減額(△は増加)	408	△357
仕入債務の増減額(△は減少)	310	1,710
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△90	30
未払又は未収消費税等の増減額	277	△46
その他	502	232
小計	3,676	5,453
利息及び配当金の受取額	122	132
利息の支払額	△12	△12
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△517	△761
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,269	4,812
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	85	163
有形固定資産の取得による支出	△1,910	△1,663
その他	△87	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,911	△1,528
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△367	△491
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△30	—
その他	32	14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△366	△477
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,742	△245
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,751	2,561
現金及び現金同等物の期首残高	35,377	38,981
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	350
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,626	41,894

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,369	15,466	8,461	33,297	3,234	36,531
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,369	15,466	8,461	33,297	3,234	36,531
セグメント利益(営業利益)	798	2,367	17	3,182	145	3,328

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,698	16,770	9,094	35,563	3,428	38,991
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,698	16,770	9,094	35,563	3,428	38,991
セグメント利益(営業利益)	851	2,508	80	3,440	29	3,470

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。